



令和3年度 滋賀県中小企業活性化施策実施計画

～コロナ禍における中小企業の事業継続支援と新たなチャレンジへの支援～

重点施策の進捗状況について

令和3年10月
滋賀県



滋賀県ちいさな企業応援月間

～地域で活躍する小規模企業をはじめとする中小企業を応援します！～

実施計画の位置づけ

- 滋賀県中小企業の活性化の推進に関する条例(平成24年滋賀県条例第66号)第10条第1項に基づき、**令和3年度の中小企業活性化施策を総合的かつ計画的に実施していくための計画**

中小企業活性化施策の方向性

【令和3年度 全112事業(重点施策49事業)・当初予算額773億円】

- ◆ 中小企業の事業継続支援とチャレンジへの支援を、施策の両輪としてバランスよく展開する。

令和3年度の3つの重点施策

コロナ禍における中小企業の事業継続支援と新たなチャレンジへの支援

I 中小企業の持続的な発展に向けた支援

徹底
サポート

届く・
響く
支援

II 中小企業を支える多様な人材の確保・育成支援

チャレンジ

III 次代を見据えた中小企業のチャレンジへの支援



コロナ禍の経験を踏まえた中小企業活性化施策推進のための基本姿勢

- ◆ 柔軟かつ機動的な事業執行
新型コロナウイルス感染症の感染状況や経済状況の変化に対応し、柔軟かつ機動的な事業執行に努める。
- ◆ 支援策の周知・徹底
支援策を必要とする中小企業の皆様に、迅速かつ確実にお届けできるよう周知に努める。



重点施策 I 中小企業の持続的な発展に向けた支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業、とりわけ小規模企業が危機を乗り越え活力を取り戻し、事業の持続的な発展が図られるよう、経営の安定および向上に向けた支援に取り組む。

➤ 小規模事業者等の経営の安定および向上に向けた支援

新型コロナウイルス感染症による影響への対応を中心に、補助金等による資金面の支援、相談体制の強化等を行っており、取組実績はおおむね順調。
支援需要の動向に留意しながら、引き続き、小規模事業者等の事業継続を支援していく。

➤ 商店街等の活性化に向けた支援

商店街活性化のための事業補助、SNSを用いた県内中小企業の情報発信を実施しており、事業の進捗は予定どおり。事業効果がより高まるよう、引き続き工夫していく。

➤ 事業承継の促進

事業承継・引継ぎ支援センターへ引き継いだ事業者数が既に目標を上回るなど、取組実績は想定以上のペースで好調。下半期も引き続き事業に取り組む。

➤ 伝統的工芸品・地場産業等の振興

クラウドファンディング支援、地場産業組合等の販路開拓等支援。近江の地酒の情報発信等を実施しており、事業の進捗は予定どおりだが、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での商談やイベントは実施困難だった。事業効果がより高まるよう、引き続き工夫していく。



重点施策Ⅱ 中小企業を支える多様な人材の確保・育成支援

若者や女性など多様な人材の確保を支援するとともに、テレワーク等の多様な働き方に対応する職場環境づくりを促進する。あわせて、デジタル化が急速に進む中、時代のニーズに即した人材育成や、生産性向上に向けた人材育成を支援する。さらに、新たに分野を横断した出向・副業などの雇用シェアを支援する「失業なき労働移動」の仕組みの構築に取り組む。

➤ 多様な人材の確保

オンラインも活用しながら、就業にかかる相談業務やマッチング、セミナー等を実施しており、事業の進捗はおおむね予定どおりで、実績・効果が見えてくるのが下半期となる事業が多い。事業効果がより高まるよう、引き続き工夫していく。

➤ 「失業なき労働移動」の推進

4/1に雇用シェアサポートセンターを開設し、相談業務やセミナー開催に取り組んでいる。下半期は、引き続き上記事業に取り組むとともに、副業希望者向け合同企業説明会を開催する。

➤ 働きやすい魅力ある職場環境の整備促進（働き方改革の推進）

テレワーク導入等支援や、女性活躍推進認証企業へのアドバイザー派遣等に取り組んでいる。下半期は、引き続き上記事業に取り組むとともに、事例集作成など県内企業への横展開も行う。

➤ AI・IoTの利活用など生産性向上に向けた人材育成支援

講習会・研究会の開催、支援事業者の決定等を実施しており、事業の進捗は予定どおり。支援事業者における取組の進捗を確認しながら、引き続き下半期も上記事業に取り組む。



重点施策Ⅲ 次代を見据えた中小企業のチャレンジへの支援

本県を取り巻く経済・社会情勢が大きく変容する中、新分野への展開や業態転換、社会的課題の解決に繋がる新事業創出、産業界のDXの加速化、クラウドファンディングを活用した販路拡大など、次代を見据えて新たなチャレンジを行う中小企業の飛躍を支援する。

➤ 先端技術活用、新分野進出、新技術開発、起業等のチャレンジへの支援

補助事業採択、事業者への支援派遣等を実施しており、事業の進捗は予定どおり。下半期は、補助事業等の状況を確認しながら、引き続き支援を実施するとともに、イベント・報告会・研修の開催等についても取り組んでいく。

➤ 業態転換など経営力強化への支援

想定を大きく上回る申請があり、ECサイトの立ち上げによる販路開拓など経営力強化につながる取組を支援している。委託業者と連携し、補助金の交付等を速やかに実施していく。

➤ 社会的課題の解決に繋がるビジネスの創出

クラウドファンディング活用については、プロジェクトを4件認定するなど取組を進めているが、引き続き、制度の周知を図り、プロジェクト組成に努めていく。

➤ 新しい観光の振興

ワーケーションのモニターツアーを企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大により大半を延期とした。下半期は、感染動向等を注視しながら、モニター事業等を実施していく。

➤ 県内への新規立地・再投資の促進

生産拠点の新設1件の成果があった。下半期も、感染動向等を注視しながら、引き続き、企業訪問や面談などを実施し、県内への新規立地や再投資等を促進していく。

➤ 海外市場の積極的な獲得に向けた支援

支援事業者採択やセミナー開催を実施しており、事業の進捗はおおむね順調。下半期も引き続き、商機拡大支援や専門家によるハンズオン支援の取組等を実施する。

➤ 滋賀の食材の魅力と消費拡大

SNS等を活用した情報発信、ICT活用アドバイザーの派遣、商談会の開催等により、滋賀の食材の消費拡大、生産者等のICT活用強化のための取組を進めている。下半期も、事業効果が高まるよう、引き続き取組を工夫していく。

重点施策Ⅰ 中小企業の持続的な発展に向けた支援



- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業、とりわけ小規模企業が危機を乗り越え活力を取り戻し、事業の持続的な発展が図られるよう、経営の安定および向上に向けた支援に取り組む。

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 (9月30日現在)＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
-----	------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-----

【小規模事業者等の経営の安定および向上に向けた支援】

県中小企業支援センター事業	中小企業の様々な課題解決に向け、窓口相談の実施と診断・助言を行う専門家派遣を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家派遣回数：365回 ・ <u>専門家派遣を活用された中小企業者の目的達成率：95%</u> 	専門家派遣事業（一般枠）：267回 専門家派遣事業（特別枠）：100回	10月21日に第一回事後評価委員会開催。現在の状況を把握し、下半期の事業方針を確認する。	中小企業支援課
事業継続計画策定支援事業	中小企業者、商工団体職員および市町職員等を対象に、BCP策定の重要性、策定や運用のポイントを学ぶ研修会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修参加者数：30者 ・ <u>研修を受けてBCPを策定した企業の増加数：5社</u> 	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、研修会の実施を見合わせ。	研修会のWebでの開催を検討中。	中小企業支援課
小規模事業経営支援事業費補助金	商工会・商工会議所および商工会連合会が小規模事業者のために行う経営改善普及事業等に要する経費に対して助成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巡回指導件数：60,000件/年 ・ 相談指導件数：27,000件/年 ・ <u>経営発達支援計画に掲げる売上増加事業所数目標を達成した商工会・商工会議所の割合：75%</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巡回指導件数 15,737件 ・ 相談指導件数 17,874件（8月31日現在） ・ 通常の経営改善普及事業等に加え、制度融資等の活用や、各種補助金の案内等、コロナ禍の影響を受ける小規模事業者に対し、支援を行った。 ・ 事務補助員を配置し、経営指導員が相談業務にできるだけ専念できるよう相談体制の確保を支援している。 	相談実施状況などを確認しながら、支援体制の強化を行っている。	中小企業支援課

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 （9月30日現在）＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
<p>新 中小企業等への支援による地域経済活性化事業</p>	<p>商工団体等が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域の事業者を応援するために行う様々な取組に要する経費を助成する。</p>	<p>・ 交付決定団体数：全9団体 ・ <u>事業者を支援する事業を実施できたと回答した団体の数</u>：全9団体</p>	<p>全9団体に当初交付決定、6月補正予算による変更交付決定済。 （9団体合計 306,000千円）</p>	<p>・ 今年度の事業が円滑に実施出来るよう、補助事業の進捗状況を把握する。 ・ 次年度に向けてのニーズ調査も行い、予算要求に向けた準備を進める。</p>	<p>中小企業支援課</p>
<p>新 小規模事業者等への支援策周知事業（緊急雇用）</p>	<p>小規模事業者等に対し、迅速かつ確実に各種支援策の周知を図るため、商工会議所等経済団体において必要な人員を雇用する。</p>	<p>・ <u>メール一斉送信等で即時に情報を届けられる会員の割合</u>：100%</p>	<p>・ 商工会議所等経済団体において、合計30人を雇用。</p>	<p>・ 今年度の事業が円滑に実施出来るよう、補助事業の進捗状況を把握する。 ・ 未設置の団体については、引き続き募集を行う。</p>	<p>中小企業支援課</p>
<p>中小企業振興資金貸付金（経営支援資金、セーフティネット資金等）</p>	<p>貸付を通じて、中小企業者の金融の円滑化、経営の安定、経営体質の改善を支援する。</p>	<p>・ 貸付件数：1,500件</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応資金が5月末まで融資実行が可能であったこともあり、令和3年8月末時点で1,857件の新規貸付実績があった。</p>	<p>9月1日に短期事業資金（コロナ枠）を創設したこともあり、下半期においても例年以上の需要がある見込み。</p>	<p>中小企業支援課</p>
<p>中小企業振興資金保証料軽減補助事業</p>	<p>中小企業振興資金貸付金において、中小企業者の保証料負担の軽減を図る。</p>	<p>・ 保証料補助件数：1,000件</p>	<p>県制度融資 新規貸付件数合計（令和3年8月末日時点）：1,857件 うち、本県の保証料補助対象資金の貸付件数：151件【A】 ※国による保証料補助対象資金である、「新型コロナウイルス感染症対応資金」・「セーフティネット資金（コロナ新規枠、コロナ借換枠）」の新規貸付件数（＝1,554件）を除いた303件に占める【A】の割合：約50%</p>	<p>9月1日に創設した「短期事業資金（コロナ枠）」について、一定件数の需要がある旨保証協会から報告を受けており（※）、当該資金も保証料補助対象資金としているため、下半期には新規貸付件数の増加とともに、保証料補助件数の増加も見込まれる。 （※）9月24日時点保証承諾実績：36件</p>	<p>中小企業支援課</p>

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 （9月30日現在）＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
<p>新</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策 経営力強化支援 事業支援事業 【緊急枠】</p>	<p>緊急事態宣言の再発令により影響を受けた県内中小企業等を対象として、売上確保のために行う緊急的な取組に必要な経費の支援（A：売上確保支援（補助））および国の一時支援金への上乗せ（B：一時支援金の上乗せ）を実施する。</p>	<p>A 採択件数：900件 B 給付件数：4,500件</p>	<p>（A：売上確保支援（補助）） 計2,660件の申請。店舗におけるアクリル板や空気清浄機の整備などの感染防止対策、飲食店におけるデリバリーやテイクアウトサービスの開始などの新たな販路開拓等売上確保のための緊急的な取組を支援。 （B：一時支援金の上乗せ） 計2,331件の申請。</p>	<p>（A：売上確保支援（補助）） 実績報告の審査、額の確定、補助金の交付等について、委託先と連携して速やかに実施する。 （B：一時支援金の上乗せ） 申請内容を審査し、速やかに支給を行う。</p>	<p>商工政策課</p>

【商店街等の活性化に向けた支援】

<p>にぎわいのまちづくり総合支援事業</p>	<p>商店街等が行う商店街活性化のためのソフト事業に対して助成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施者数：10件 ・来街者数等の目標を達成した商店街等の割合：<u>75%</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・交付申請件数：10件 観光案内所を活用したマルシェイベントの開催 道路空間を活用したオープンカフェの開催 など 	<p>交付申請予定：1件</p>	<p>中小企業支援課</p>
<p>滋賀県ちいさな企業応援月間事業</p>	<p>県内の‘ちいさな企業’の魅力を県内外へSNSを用いて発信するとともに、県内の支援機関等が実施する支援策や諸活動を広報する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配布数 チラシ：5,000枚 ポスター：200枚 事業一覧HP閲覧件数：300件 Instagram投稿数：70 ・Instagramフォロワー数：<u>600人</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・配布数 チラシ：3,000枚 ポスター：200枚 ・事業一覧に関しては、30団体から165事業の報告があり、HPに掲載を行った。 ・Instagram投稿数：50 ・Instagramフォロワー数：576人 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業一覧に掲載した事業にアンケートを依頼し、応援月間の事業効果測定を行う。さらに、県の補正事業など更なる周知が必要な事業をまとめて周知。 ・SNSでは、県内中小企業者情報の発信力の強化を図るため、更なるフォロワーの獲得を目指す。 	<p>中小企業支援課</p>

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 (9月30日現在)＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
-----	------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-----

【事業承継の促進】

<p>新</p> <p>滋賀発事業承継プロジェクト促進事業</p>	<p>コロナ禍において、自主廃業が増加することが懸念される中、事業者の事業承継ニーズ掘り起こしを強化し、後継者候補の育成および幅広く活用できる補助金により、事業承継を促進する。</p>	<p>・事業承継・引継ぎ支援センターへ引き継いだ事業者数：36者</p> <p>・事業承継計画作成もしくは後継者人材バンクへの登録数：15件</p> <p>・事業承継の課題解決に繋がった事業者：10者</p>	<p>①事業者を訪問し、各種支援策を案内するとともに事業承継に関するニーズ喚起を行った。 センターへ引き継いだ事業者数：47者</p> <p>②経営に関する基礎知識等を学ぶため研修を実施。 事業承継計画作成：12件</p> <p>③事業承継円滑化補助金 申請7件のうち、交付決定6者</p>	<p>①引き続き事業者へのニーズ喚起を行う。</p> <p>②引き続き承継後の事業展開等についての知識を学ぶ研修を行う。</p> <p>③引き続き補助事業の募集・広報を行う。</p>	<p>中小企業支援課</p>
-----------------------------------	--	--	---	---	----------------

【伝統的工芸品・地場産業等の振興】

<p>新</p> <p>滋賀の匠クラウドファンディング支援事業</p>	<p>クラウドファンディングを活用した新規顧客の獲得や販売拡大、新商品制作のための資金調達を目指す伝統的工芸品等事業者への支援を行う。</p>	<p>・参加事業者数：3者</p> <p>・クラウドファンディングの目標を達成した事業者の割合：100%</p>	<p>・7月より個別面談を実施し、新商品開発中</p> <p>・9月クラウドファンディングセミナー：6社参加</p>	<p>・11月下旬商品写真撮影</p> <p>・12月クラウドファンディングページ作成</p> <p>・1～2月クラウドファンディング実施</p>	<p>モノづくり振興課</p>
-------------------------------------	---	--	--	---	-----------------

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 （9月30日現在）＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
近江の地域産業振興総合支援事業	地場産業組合等が実施するブランド力の向上、後継者育成、海外展開や販路拡大等の戦略的な取り組みを支援する。	商品開発や販路開拓に取り組んだ事業者の数：15件	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産業組合等の海外展開・後継者育成・国内販路開拓等を支援するために、事業10件について補助金交付決定 ・第一回施策推進協議会（9/1） ・地場産業等地域デザイン創造研究会（6/23, 8/25, 9/24, 製菓組合） ・地域産業ブランド力向上セミナー（9/3） ・販路開拓応援事業（委託）において、参画事業者を3者を決定し、現地販売会へ向けての取組を実施 ・地場産業等実態調査を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外展開・後継者育成・国内販路開拓等について、各組合より遂行状況報告書、完了報告書を提出いただく。 ・第二、三回施策推進協議会 ・地場産業等地域デザイン創造研究会を年度内で2回程度開催 ・地域団体商標などの知財に関して、専門家派遣により指導 ・販路開拓応援事業では、現地デザイナーの意見を取り入れた商品開発、海外現地でのテストマーケティング、オンラインショールーム展示等を行う ・地場産業等振興功労者表彰 	モノづくり振興課
近江の地酒文化普及事業	近江の地酒の新たなファン獲得や需要の掘り起こしを行うため、魅力の発信や乾杯イベントの開催、商談会等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「滋賀地酒10,000人乾杯プロジェクト」の実施 ・「<u>滋賀地酒10,000人乾杯プロジェクト</u>」の参加人数：10,000人 ・商談件数：50件 	<ul style="list-style-type: none"> ・酒造組合加盟（33蔵）の地酒の成分分析を実施。 ・県の広報媒体等を活用し、広く県民を中心に「近江の地酒」の魅力を発信。 ・近江の地酒普及促進協議会の運営第1回協議会を実施（9月17日） ・地酒の新しい飲み方の提案のため、滋賀酒カクテルコンペティションを実施（9月19日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・近江の地酒普及促進協議会の運営（第2回協議会の実施） ・地酒普及月間（10月）の取組として、「滋賀地酒10,000人乾杯プロジェクト」を実施（10月2日） ・近江の地酒魅力発信ツールの製作 	観光振興局

重点施策Ⅱ 中小企業を支える多様な人材の確保・育成支援



- 若者や女性など多様な人材の確保を支援するとともに、テレワーク等の多様な働き方に対応する職場環境づくりを促進する。あわせて、デジタル化が急速に進む中、時代のニーズに即した人材育成や、生産性向上に向けた人材育成を支援する。さらに、新たに分野を横断した出向・副業などの雇用シェアを支援する「失業なき労働移動」の仕組みの構築に取り組む。

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 （9月30日現在）＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
-----	------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-----

【多様な人材の確保】

滋賀マザーズ ジョブステー ション事業	出産や子育てによる離職後、再就職を希望する女性等を対象とした就労支援を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀マザーズジョブステーションの相談件数：5,700件（年間） ・滋賀マザーズジョブステーションの就職件数：960件 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 近江八幡 1,253件 草津駅前 1,545件 出張相談 52件 計 2,850件 ・就職件数 475件 ・セミナー＆お仕事相談会 6月17日 甲賀市 参加者 15名 ・保活直前！お仕事探し応援ウィーク WEB特設サイト来訪者 1,481名 （重複を除く実人数） 	セミナー＆お仕事相談会 （彦根市、高島市）	女性活躍推進課
中高年人材新規就 業支援事業	滋賀労働局・ハローワークと連携し、中高年齢者への一体的な就労支援等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・シニアジョブステーション滋賀の利用者数：6,200人 ・シニアジョブステーション滋賀利用者の就業者数：500人 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員（プランナー）による職業適性診断やキャリア相談等 ・アドバイザーによる企業向け職場環境改善や雇用促進のアドバイス・支援等 ・出張相談（長浜、彦根、甲賀、高島） ・雇用・就労促進啓発セミナーの開催（5回） 【実績（9月末現在）】 ・就業者数：173人 ・利用者数：2,713人 ※うち、シニア相談コーナー利用者：1,152人 企業相談コーナー利用者：175人 セミナー参加者：127人 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員（プランナー）による職業適性診断やキャリア相談等 ・アドバイザーによる企業向け職場環境改善や雇用促進のアドバイス・支援等 ・就職面接会の開催（11月9日） ・出張相談（長浜、彦根、甲賀、高島） ・雇用・就労促進啓発セミナーの開催（7回） 	労働雇用政策課

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 (9月30日現在)＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
しがジョブパーク事業	学生・若者・就職氷河期世代の求職者を対象に相談から就職・定着までをワンストップで支援する。また、県内企業等を対象に、若手人材の確保・育成や受け入れ環境整備を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・しがジョブパークの利用者数 ：17,600人 ・しがジョブパークを利用した若者の就職者数 ：2,200人 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアカウンセラーによる就職相談や面接対策等 ・学生のUIターン就職を図るため、大学訪問や学内で開催される就職イベント等に参加し、県内の就職情報を提供 ・キャリアカウンセリングによる就職氷河期世代への就業支援 ・人材確保アドバイザーによる人材確保等に関するアドバイス・支援やセミナー開催 ・若者未来塾（毎月） ・就職氷河期世代向けのセミナー、マッチングイベント（8月） ・オンライン合同企業説明会（6・7月で各月4回。各1時間で2社ずつ参加） ・就職面接会（6月） ・オンライン業界研究会（9月） ・地域若者サポートステーションにおける臨床心理士によるカウンセリング等 <p>【実績】就職者数（9月30日現在）： 1,175人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアカウンセリングコーナー、人材確保支援コーナー、地域若者サポートステーションにおいては、引き続ききめ細かな相談や情報提供業務等を実施していく。 ・若者未来塾（毎月） ・就職氷河期世代の支援につなげるセミナー、就業体験プログラムの実施 ・主に非正規労働者および離職者向けの、多様な働き方を推進する企業と求職者のマッチングを図る合同企業説明会（11月） ・学生をはじめとする求職者と、県内企業をつなげる合同企業説明会（3月） 	労働雇用政策課
チャレンジドWORK運動推進事業	県内企業による主体的な障害者雇用の取組を促進するため、優良事業所等の表彰や就職面接会の開催等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークの支援による障害者の就職件数 ：1,460件 ・県内に本社のある民間企業の実雇用率：2.3% 	9月13日に障害者雇用優良事業所等知事表彰式を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により11月8日に延期した。	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用優良事業所等知事表彰式（11月8日） ・障害者就職面接会 10月、11月 県内7か所のHWで実施 2月 湖南地域、湖東・湖北地域で実施 ・事業主向け障害者雇用啓発リーフレット5,000部作成 	労働雇用政策課

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 （9月30日現在）＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
オール滋賀DEインターンシップ事業	学生に加え、社会人や既卒者といった即戦力となる人材も対象として、県内企業等におけるインターンシップを推進し、企業の人材確保を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップマッチング成立数：延べ120名 ・<u>インターンシップ参加者の県内企業等への就職率：76.0%（R3.3.31卒）</u> 	夏季マッチング数：62名	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季インターンシップ ・意見交換会 	労働雇用政策課
外国人材受入サポート事業	企業向け相談窓口として「滋賀県外国人材受入サポートセンター」を開設するとともに、起業対象のセミナーを開催するなど、人材不足に直面する県内企業が外国人材を円滑かつ適正に受け入れることができるよう必要な支援を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数：延べ500件 ・<u>支援した企業等の外国人材採用人数：155人</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数：延べ652件（9月末） ・セミナー参加者数：58名 ・Youtubeで外国人の在留資格に関するミニセミナー配信 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き相談事業を実施 ・外国人材採用セミナー ・11月5日に留学生等外国人材対象の就職面接会 	労働雇用政策課
首都圏等からのUターン就職推進事業	「しがIJU相談センター」における移住希望者への相談支援に加え、県内企業の魅力発見セミナーや、県内企業での就業体験ツアーを実施し、本県への移住就業の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験ツアー参加者：20名 ・セミナー参加者：30名 ・<u>「しがIJU相談センター」の支援等を通じて首都圏等から本県へ移住就業した人数：5人</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・センター相談件数：193件 ・県の就労支援機関しがジョブパークと連携し、移住キャリア相談会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き相談事業を実施 ・しがワークステイ（就業体験事業）（10月～12月） 	労働雇用政策課

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 （9月30日現在）＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	中小企業者に対して、企業の成長に必要な人材の活用を働きかけるとともに、協力関係にある複数の人材会社および大企業へ求人ニーズを取り次ぐことにより、県内企業と専門人材のマッチングを支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業の経営課題等に関する相談件数：400件 ・①地域企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチング件数：150件 ②直近の勤務地が県外のプロ人材のマッチング件数：65件※①の内数 	<ul style="list-style-type: none"> ・マネージャー等による企業訪問の実施（R3年9月末現在） 相談件数 591件 マッチング件数 129件 内県外からのマッチング件数 44件 ・プロフェッショナル人材戦略協議会の開催（R3年7月、9月オンライン開催） ・人材確保助成金、副業・兼業プロ人材活躍推進補助金事業募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロフェッショナル人材戦略協議会 ・プロ人材活用セミナー（1月25日開催予定） ・課題解決型インターンシップ教育（1コース目10月～12月、2コース目1月～3月開催予定） ・大手企業・県内中小企業オンライン交流会（11月16日、25日開催予定） 	商工政策課
<p>新</p> コロナ禍における女性のマッチング支援事業	企業向け説明会や合同面接会の開催、求人情報や生活支援に関する相談窓口の情報を掲載したWeb特設サイトの公開により、主にコロナ禍で離職や収入減となった女性の早期就労を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・参加企業数：20社 ・マッチング支援による採用者数：40名 	コロナに負けるな！お仕事探し応援ウィーク <ul style="list-style-type: none"> ・合同企業面接会 ※相談ブース設置 ＜彦根会場＞6/11開催 参加事業所数 13社（1社欠席） 参加者数 21人 面接回数 29回 内定者数 3人 ＜草津会場＞6/25開催 参加事業所数 13社 参加者数 24人 面接回数 29回 内定者数 2人 ・特設WEBサイト 来訪者数 1,823人（重複を除く実人数） 	-実施結果を検証し、今後の事業につなげていく。	女性活躍推進課
地域を支える建設産業魅力アップ事業	建設産業の魅力ややりがいを発信し、イメージアップを図るため、しがけんせつみらいフェスタや、学校での出前授業、現場見学会等を行い、若い世代の建設産業への入植促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀けんせつみらいフェスタの開催（年/1回） ・滋賀けんせつみらいフェスタにおいて、建設産業の魅力を感じた人の割合：95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀けんせつみらいフェスタの委託事業者決定 ・出前けんせつみらいフェスタ1回開催 ・出前授業1回開催、5回分開催校決定 ・現場見学会6回分開催校決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀けんせつみらいフェスタ（11/6）※雨天時は11/7に延期 ・出前授業5回開催、3校調整中 ・現場見学会6回開催、3校調整中 ・高校生向けの魅力発信広報誌を制作 	技術管理課

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 （9月30日現在）＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
-----	------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-----

【「失業なき労働移動」の推進】

<p>新</p> <p>雇用シェアサポート事業</p>	<p>コロナ禍により雇用維持が困難となっている事業者と、従来より人手不足である事業者との二極化が進んでいる現状を踏まえ、「滋賀県雇用シェアサポートセンター」を開設・運営。就業規則改正サポートや啓発セミナー等を実施し、分野を横断した雇用シェア（出向・副業）および移籍を総合的に支援する。</p>	<p>相談件数：延べ200件</p>	<p>4月1日に雇用シェアサポートセンターを開設し、9月末時点で延べ78件の相談に対応したほか、滋賀労働局との共催セミナーを1回開催</p>	<p>引き続き相談事業を実施しつつ、啓発セミナーのほか、副業希望者向け合同企業説明会を1回開催する。</p>	<p>労働雇用政策課</p>
-----------------------------	--	--------------------	--	--	----------------

【働きやすい魅力ある職場環境の整備促進（働き方改革の推進）】

<p>新</p> <p>業界団体と連携したテレワークの導入支援事業</p>	<p>滋賀県中小企業団体中央会が主に会員組合を通じて募った企業を対象に行うテレワーク導入等支援に要する経費を補助する。</p>	<p>・テレワーク導入等を支援した企業数：5社</p>	<p>補助事業者（滋賀県中小企業団体中央会）においてモデル企業7社を選定し、コンサルティング等の導入等支援を行っている。</p>	<p>引き続き導入等支援を行い、年度後半にそれらの事例の横展開を実施する。</p>	<p>労働雇用政策課</p>
<p>仕事と生活の調和推進事業(コロナ禍の柔軟な働き方導入支援事業)</p>	<p>女性活躍推進に取り組む企業等を県が認証、公表することにより、女性活躍の促進を図る。また、認証企業を対象にアドバイザーを派遣、その改善好事例集を作成する。</p>	<p>・アドバイザーを派遣する女性活躍推進企業の認証企業：12社 ・滋賀県女性活躍推進企業認証数 270社</p>	<p>・派遣回数 3回（3社） うち、新規認証企業2社 ・オンラインセミナー（8/4開催） 参加企業数 11社</p>	<p>・アドバイザー派遣 計36回（12社） ・事例集の作成</p>	<p>女性活躍推進課</p>

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 （9月30日現在）＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
-----	------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-----

【AI・IoTの利活用など生産性向上に向けた人材育成支援】

しがの産業生産性向上支援事業	県内の企業・事業所における生産性の向上を後押ししていくことを目的に、生産性向上支援インストラクターの企業等への派遣、ミニスクールの開催等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・インストラクターの企業等への派遣件数：10件 ・<u>生産性の向上につながっている企業の割合：85%</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月に事業案内・アンケートを県内事業者約2300社に送付 ・WEB配信スクール1 動画配信済み ・以下、現時点での改善等予定 インストラクター派遣事業5社 第3次産業派遣事業1社 定着支援事業2社 ミニスクール事業2社 	<ul style="list-style-type: none"> ・決定した事業者に対して改善を実施する 	商工政策課
現場力の維持・強化に向けたAI開発支援事業	AI等のデジタルツールの利活用によるものづくり産業の高度化を目指し、AIやディープラーニングに関する知識を有し、適切に事業活用できる人材の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催数：5回 ・<u>AI導入支援実施企業数：20件/年</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催等 2回 ・AI導入支援 活用のための相談・指導：3社 延べ8件 開発支援環境の提供：3社8名 	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会： 現場技術者のための基礎からのAI構築実習（3回）を計画中 ・県内中小企業に対する、相談・指導および、開発支援環境の提供を適時実施 	モノづくり振興課
製造現場へのAI・IoT導入促進事業	県内中小企業の生産性向上や競争力強化を図るため、県内中小企業の製造現場が行うAI・IoTといったデジタルツールの導入を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・AI・IoT導入事業件数：10件 ・<u>製造現場へ新たにAI・IoT導入を具体的に検討・決定した企業数：20社</u> 	滋賀県産業支援プラザが、「製造現場へのAI・IoT導入促進補助金」の募集5月14日から6月25日に行い、審査の結果、合計7件の計画を採択した。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り事業が進んでいるか確認するため、採択企業のうち、受け入れを可能とする企業を訪問 ・助成金成果報告会を開催（3月予定）し、採択企業による成果報告を実施 	モノづくり振興課
<p>新</p> DXによる新たなビジネスモデルづくり事業	経営者・技術リーダー層を対象としたワークショップやセミナー、先進企業の事例研究などを通じ、DXをキーワードとした新たなビジネスモデル、事業戦略づくりに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム実施回数：11回 ・<u>参加企業においてデジタル技術を活用した新たな事業展開や事業見直しの検討を開始した件数：15件</u> 	<p>下記の内容で5回の研究会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DXでできること、具体の革新事例を紹介 ・参加者によるDX革新ロードマップの作成、グループワーク ・IoT基礎知識の習得（電子部品、電子回路等の基本概念理解、簡単なプログラムを組んでLEDやセンサーの動作理解） ・ニューノーマル時代における業務プロセス・働き方へのDX推進を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ITベンダーによる先進企業の取組事例の紹介、参加企業による今後実践するDX計画の発表など、計6回の研究会を実施。 	モノづくり振興課

重点施策Ⅲ 次代を見据えた中小企業のチャレンジへの支援



- 本県を取り巻く経済・社会情勢が大きく変容する中、新分野への展開や業態転換、社会的課題の解決に繋がる新事業創出、産業界のDXの加速化、クラウドファンディングを活用した販路拡大など、次代を見据えて新たなチャレンジを行う中小企業の飛躍を支援する。

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 （9月30日現在）＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
-----	------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-----

【先端技術活用、新分野進出、新技術開発、起業等のチャレンジへの支援】

「発酵産業」成長促進化プロジェクト事業	多様な主体でつながるプラットフォームを構築し、発酵を軸とした新たな商品・サービスの創出を支援するとともに、認知度向上に向けた施策を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト件数：10件 商品・サービス化：1件 	<ul style="list-style-type: none"> 近鉄百貨店草津店での催事、Webコンテンツの作成やSNS等の活用による認知拡大を実施。 7月に審査会を開催し、7件の補助事業を採択 	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀発酵商店を冠にした催事の展開 他の支援制度への横つなぎを行い、プロジェクトの構築を促進 	商工政策課
近未来技術等社会実装推進事業	滋賀県内をフィールドに、IoT、AI、自動運転、ドローン等近未来技術の社会実装に向け、企業等からの申請に基づく実証実験等の経費に対して助成し、事業化に向けた取組の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験件数：4件 社会実装に至った件数：1件 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に支援した事業の1件が4月に社会実装に至った。 7月に審査会を開催し、3件の補助事業を採択（内1件は実装型の事業） 	<ul style="list-style-type: none"> 10月から2次募集を行い、事業化を加速する。 当該事業の活用や県内での実証実験を促すため、事例を分かりやすく伝える動画を作成 	商工政策課
滋賀発成長産業発掘・育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 県内理工系大学や第二創業を目指すモノづくり中小企業等からのビジネスシーズ発掘 メンタリング等による事業化プランのブラッシュアップ 事業化プランの発表の場および大手企業等支援者に対する訴求機会としての事業化プランコンテストの開催 優秀なプランに対するハンズオン支援の機会提供 	<ul style="list-style-type: none"> 事業化プランコンテストへの選考件数：9件 新規法人化等件数：1件 	<ul style="list-style-type: none"> 県内理工系大学や第二創業を目指すモノづくり中小企業等からのビジネスシーズ発掘。滋賀テックプランターエントリーチーム24件。 滋賀テックプランングランプリの開催。事業化プランコンテストへの選考件数9件。参加者105名。最優秀賞1件、企業賞8件授与。 新規法人化1件。 	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀テックプランターエントリー者に対して、関係機関と連携し、継続的な支援を行う。 ベンチャー設立に向けたスクールとして、リアルテックススクール(11月頃) 投資を受ける上で必要な要素を知る機会を提供する、投資プレゼン会(2月頃) 	モノづくり振興課

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 （9月30日現在）＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
<p>新 コロナ対応モノづくり研究開発支援事業</p>	<p>コロナ対応をはじめとした社会の多様なニーズに応える新規開発事業へのチャレンジについて支援およびフォローアップを実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の新製品等開発計画の認定等件数：9件 ・<u>過去5か年の計画認定事業の製品化割合</u>：47% 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次募集（4月8日から5月14日）で26者の応募があり、12者を採択。なお、13者をチャレンジ計画認定。 ・2次募集（7月19日から8月6日）で12者の応募があり、11者を採択。なお、2者をチャレンジ計画認定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2次募集の交付申請を受付し、交付決定を進めている。 ・現地で中間検査（10～11月）、確定検査（1～2月）を行うとともに、フォローアップ支援を実施する。 	モノづくり振興課
6次産業化ネットワーク活動推進事業	<p>農林漁業者と多様な事業者が連携する6次産業化のネットワーク化や、新ビジネスの創出を促進し、農林漁業者の経営発展や地域活力の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化研修会の参加者数：延べ100名 ・実施事業者数：1事業者 ・<u>6次産業化を含む経営改善計画や総合化事業計画を策定した経営体数</u>：5経営体 	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化プランナーの派遣に向けて、地域支援検証委員会を3回開催し、農業者への支援（派遣）を延べ23回実施。 ・新ビジネスに取り組む農業者に対し支援中（3事業者） ・3事業者が経営改善を実践する見通し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月以降に6次産業化研修会（共通講義：5回、個別相談：2回、テーマ別講義：3テーマ×3回） ・引き続き、プランナー派遣を実施するとともに、地域支援検証委員会においてその効果を検証する。 	農業経営課
創業応援隊による起業準備者育成支援事業	<p>起業準備者等に対して、補助金による資金面での支援を行うとともに、創業応援隊等の支援機関が連携して企業化に向けた伴走型支援を行う。 ※別枠を設置し、コロナ禍を受けた社会・経済の変容を踏まえた起業を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>起業準備応援補助金採択件数</u>：15件 	<ul style="list-style-type: none"> ・応募24件に対して、17件（一般枠12件、コロナ枠5件）を採択。 ・9月には1回目の進捗報告会を開催。支援者から採択者に対するアドバイスを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月頃再度進捗報告会を開催予定。状況確認や、採択事業者・伴走支援者同士の情報共有を図る。 ・年度末には成果発表会を実施することで、次年度に向けた課題や改善点を把握する。 	中小企業支援課

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 (9月30日現在)＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
-----	------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-----

【業態転換など経営力強化への支援】

<p>新</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策経営力強化支援事業</p>	<p>県内中小企業等に対し、今後の事業活動に資する人材確保・育成、働き方改革、新たな販路の開拓、デジタルトランスフォーメーションの推進、CO2ネットゼロ等、企業の経営力強化につながる取組を促進するため、これらの取組にかかる経費の一部を補助する。</p>	<p>採択事業者：1,000件</p>	<p>計3,922件の申請。ECサイトの立ち上げによる販路開拓やテレワーク等の働き方改革のための環境整備など経営力の強化につながる取組を支援。</p>	<p>実績報告の審査、額の確定、補助金の交付等について、委託先と連携して速やかに実施する。</p>	<p>商工政策課</p>
---	--	---------------------	---	---	--------------

【社会的課題の解決に繋がるビジネスの創出】

<p>新</p> <p>社会的課題解決型クラウドファンディング活用推進事業</p>	<p>クラウドファンディング事業者と協同して特設サイトでの周知やセミナーを開催し、社会的課題や地域活性化に資するプロジェクトを推進するとともに、新たな販路拡大の手法であるクラウドファンディングの活用を促進する。</p>	<p>・プロジェクト実施事業者数：2件</p>	<p>プロジェクト4件認定 ・6月16日から専用HP「びわこクラウドファンディング」を立ち上げ、プロジェクトの募集開始。 ・9月29日に県内事業者を対象としたセミナーを開催。</p>	<p>引き続き、セミナーやHP等での周知を行うことで事業者に対して対象プロジェクトの実施を促進する。</p>	<p>商工政策課</p>
<p>新</p> <p>SDGsビジネス創出支援事業推進事業</p>	<p>「滋賀×SDGs交流会」に「(仮称)ビジネス分科会」を設置し、企業のSDGsにかかるビジネスを支援するとともに、社会的課題の解決に向けたアイデアの創出を促す取組を実施する。</p>	<p>・プラットフォーム総会の開催：1回 セミナー、ワークショップ：2回 社会起業家塾：1回 SDGs宣言企業交流会：1回 ・ビジネスにつながる社会的課題の発掘件数：3件</p>	<p>SDGsに関心のある企業や経済団体等と意見交換を行い今後の方向性を協議するとともに、クラウドファンディングを活用した社会的課題の解決に資する取組を創出。</p>	<p>プラットフォームの構築に向けて関係機関等と準備を進めていく。</p>	<p>商工政策課</p>

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 （9月30日現在）＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
<p>新</p> <p>イノベーションエコシステム創出支援事業</p>	<p>大手企業・大学等のニーズ・シーズとそれに合致する中小企業等の技術等を募集し、オープンイノベーションビジネスマッチングを実施することで、イノベーションの創出、新ビジネスの展開を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチングイベント開催：3回 ・参加者の共同研究や製品開発など事業連携を検討した件数：10件 	<p>第1回ビジネスマッチング会を9月1日に開催。</p> <p>テーマ：エネルギー関連（環境先端技術、省エネ技術、素材技術、電源事業等のニーズ・シーズマッチング）</p> <p>参加企業数：35社(54名) ※オンライン参加含む</p> <p>面談件数：16件 具体化に向けた検討開始：7件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回：開催日11月16日 テーマ：大学グリーン関連 ・第3回：開催日2月17日 テーマ：製造・物流のグリーン関連 	モノづくり振興課

【新しい観光の振興】

<p>新</p> <p>ワーケーション推進事業</p>	<p>コロナ禍を踏まえた新しい観光の一つとしてワーケーションを推進し、観光三方良し（①宿泊事業者の平日を始めとする宿泊率向上、②企業の働き方改革やSDGs等の企業価値向上、③琵琶湖や森林の保護活動等への参加者確保）の実現を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県でのワーケーション体験者数(令和3年度)：500人 ・滋賀県でのワーケーション導入事業者数：4社 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に8つのモニターツアーを企画。 ・4月22日～23日に守山市でモニターツアーを実施し、5名が参加。 ・その後は、新型コロナウイルス感染拡大によりモニター事業等を延期。 	<p>10月に緊急事態宣言が解除されたことから、今後の誘客できるタイミングを捉えて、臨機応変にモニター事業等を実施していく。</p>	観光振興局
-----------------------------	---	---	--	--	-------

【県内への新規立地・再投資の促進】

<p>企業立地促進応援パッケージ</p>	<p>立地企業への継続的なフォローを行うサポート体制の強化や、操業後の課題に向けた取組に要する経費への助成等により、県内への新規立地や再投資等を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問件数：100件 ・本社機能、研究開発拠点、マザー工場等の新設・増設：4件 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問件数 43件 ・本社機能、研究開発拠点、マザー工場等の新設・増設：1件 	<p>コロナ禍の状況に留意しつつ、企業訪問やWebを活用した面談などを活用し県内への新規立地や再投資等を促進する。</p>	企業立地推進室
----------------------	---	--	---	---	---------

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 (9月30日現在)＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
-----	------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-----

【海外市場の積極的な獲得に向けた支援】

滋賀ウォーターバレー・水環境ビジネス推進事業	産学官民連携のプラットフォームである「しが水環境ビジネス推進フォーラム」の活動を基盤に、県内企業の海外での実証試験、国内外での販路開拓等を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 水環境ビジネス関連の商談件数：240件 	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム、中国の水環境政策動向に焦点をあてたオンラインセミナーを実施。 ビジネスプロジェクトの創出・展開として、海外展開事業化モデル事業では、4件を採択し、支援。 ベトナム：3件 タイ・インド：1件 	<ul style="list-style-type: none"> 「しが水環境ビジネス推進フォーラム」をプラットフォームとする広報活動、情報提供・収集活動等を継続して実施。 JICA草の根技術協力事業の現地での事業開始を予定（新型コロナウイルス感染症の渡航制限を踏まえる。） 商機拡大支援としてメッセナゴヤ等へ出展予定。また、ジェットロと連携して海外バイヤーとの商談会をオンラインで開催。 	商工政策課
海外展開総合支援事業	ジェットロ滋賀貿易情報センターと連携し、貿易や海外投資等に関する相談に対応する。また、ASEAN地域を重点的に中小企業の海外事業展開を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 海外展開にかかる相談対応件数：月平均30件 海外展開成功件数：<u>15件</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ジェットロの海外ネットワーク等を活用しながら、県内企業からの貿易投資相談に対応している。 台湾の高級スーパーでのフェアの開催などにより県内食品事業者を支援し、16件の成約を見込んでいる。 	貿易投資相談への対応に加え、専門家によるハンズオン支援等により、県内企業の海外展開をサポートする。	商工政策課
<p>新</p> 反転攻勢に向けた海外展開チャレンジ支援事業	県内企業の海外展開に関する新たなチャレンジに対して、必要な経費を補助するとともに、ジェットロ滋賀貿易情報センターと連携の上、採択企業への支援を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 支援件数：14件 本補助事業の実施により、新たな海外展開・輸出につながった件数：<u>7件</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 応募総数33件の中から、審査会を経て、16件の事業計画を採択。 各補助事業者において事業が進められており、ジェットロ滋賀貿易情報センターと連携し、企業訪問等を通してフォローアップを実施。 	ジェットロ滋賀貿易情報センターと連携し、事業の進捗状況確認・フォローアップ等を行う。	商工政策課

事業名	取組内容	数値目標 アウトプット目標 アウトカム目標	取組実績 ＜令和3年度上半期 （9月30日現在）＞	今後の予定 ＜令和3年10月 ～令和4年3月＞	担当課
-----	------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-----

【滋賀の食材の魅力と消費拡大】

<p>新</p> <p>「滋賀の幸」サプライチェーン構築支援事業</p>	<p>「生活」と「生産」が距離的に近い特徴を持つ滋賀らしさを活かし、安定的な市場流通に加え、直売所等の機能強化や通信販売等の多様なサプライチェーンの実現を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT活用の強化 多様な担い手確保、サプライチェーンの構築 	<ul style="list-style-type: none"> SNSサイトフォロワー数：7,000人 「おいしが うれしが」CP登録事業者数（生産者以外）：1,050事業者 <u>サプライチェーンの強化に取り組む事業者数：20社</u> 	<ul style="list-style-type: none"> SNSサイトフォロワー数：5,970 「おいしが うれしが」CP登録事業者数（生産者以外）：1,058 ICT活用力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ICT活用アドバイザーの選定（2名） ICT活用研修会の開催（5～6月。計6回。参加者38名） ICT活用アドバイザーの派遣：17回 ICT活用補助金活用：12事業者 多様な人材確保・サプライチェーンの構築 直売所支援補助金活用：5事業者 	<ul style="list-style-type: none"> 「おいしが うれしが」CP登録事業者との連携を通じて、県産食材の消費拡大に向けてその魅力発信等に取り組む。 引き続きICT活用アドバイザーの派遣を通じて、生産者等のICT活用力強化に向けて支援する。 	<p>食のブランド推進課</p>
<p>“ブランド近江牛”流通パワーアップ事業</p>	<p>京都や首都圏での近江牛の広告掲載や、近江牛の魅力を発信する取組への補助（“おうみ肉の日キャンペーン”の実施など、近江牛の魅力を発信する取組への支援）を実施することで、近江牛の流通拡大を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <u>近江牛取扱店舗数：310店舗</u> 	<p>コロナ禍において近江牛のブランドをPRするため駅や高速道路SAにおいて、デジタル広告掲載</p>	<p>3月29日のおうみ肉の日に向け、精肉店等関係者で一体となったキャンペーンを実施するため、購買者へのスクラッチやPR冊子、ポスター等を作成する。</p>	<p>畜産課</p>
<p>新</p> <p>しがの漁業魅力発信スキルアップ事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 意欲ある担い手と飲食店等との連携による湖魚の魅力発信 担い手漁業者の漁業技術や販売スキルの学び合いの場の提供および新規就業者研修の実施 WEBサイトでの担い手のPR活動の発信を通じた、琵琶湖産魚介類の消費行動の喚起。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>琵琶湖産魚介類を活用する事業者数（琵琶湖八珍マイスター登録店舗数）</u> <u>：252店舗（累計）</u> 	<p>意欲ある担い手が県内料理人とのトライアル商談会を実施。商談形式の研修によりニーズの把握や求められる情報等、漁家経営向上のヒントを学んだ。（参加者：担い手8名、講師料理人4名）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 担い手を対象に販売スキル向上のための勉強会（10月） 県内飲食店との連携したメニューフェアによる湖魚の魅力発信（1月） 	<p>水産課</p>